

伝えよう

心がらの「ありがとう」



「ありがとう」―たったの五文字とはいえ、心を込めたひと言は、時に相手の心に深く刻まれるものです。

そこに込める「心」を、あらためて見直してみると、「ありがとう(有り難う)」とは「そのように有ることが難しい」という意味です。それは「当たり前ではない」ということでしょう。

与えられた状態を「当たり前」と思ってしまうと、ありがたみは見えにくくなります。家族のように近い間柄であれば「やってくれて当たり前」「自分も相手にしてあげていることがあるから、お互いさま」と思ってしまうがちではないでしょうか。気恥ずかしくて、素直に「ありがとう」を言えないこともあるかもしれません。しかし、世の中に「当たり前」はないはずで、日常に隠れている「有り難いこと」の一つ一つに目を向け、ありがたみをしっかりと認識するほどに、喜びを感じる機会が増えていきます。否定的な考えから「ありがとう」は生まれません。何事に

も感謝できる人は前向きで、喜びをつくるのが上手な人といえます。

そして、心からの「ありがとう」は、相手に「あなたのしてくれたことをしっかりと認識している。あなたのことを大切に思っている」というメッセージを伝えてくれます。そのメッセージこそが、相手の心に喜びをもたらし、私たちの人間関係に潤いを与えてくれるのではないのでしょうか。

(参考)モラロジー研究所
「ニューモラル」六〇一号)

■公益財団法人モラロジー研究所

千葉県柏市。モラロジーは「道徳」を表すモラルと「学」を表すロジからなる学術名。倫理道徳の研究と、社会教育を推進する研究教育団体です。

【お問合せ】広報出版部
04-7173-3341

■道徳を考える月刊誌「ニューモラル」最新号贈呈

住所・氏名・電話番号・「なのはなシニア千葉」を明記の上、FAX(04-7173-3324)にてお申し込みください。